

仮説と検証04

赤ちゃんの言語習得について、母語だから自然と身につくし、簡単だと思っ
ていたけれど、たしかに赤ちゃん自身が考えてみると、顔も口も舌も何
か自分にはまだ話せていないのは普通に怖いし、その中で「言語を学ぶのは
難いかもしれない」と思っているから、今学んでいる第一言語を頑張ろうと思っ

科学のABCを赤ちゃんの頃から自然に出来ていくことはびっくりした。
無意識のうちに習得し、それを今でも出している。Good!
不思議な考え方を思いついた。「もっと自分に自信を持つ」と思っ
た。あ、意味、私が伝えているとどうなの!!

また、ビデオで音源だけを聞いても、直接対面で教わることが多い。
直接対面と聞かせることで反応が違って科学的ABCが成立する。
よって人間との関わりが大切なんだと書いた。Good!

赤ちゃんの言語獲得能力にはビデオや音声よりも、直接対面で教わることが多い。
その理由は頭の中で科学的ABCを実行したとき、相手からの反応によっ
て確認ができるから。OK!

赤ちゃんの言語獲得能力について、直接聞くのとビデオを通じた聞くのでは
差があるという部分も興味深かった。なぜ差があるのかという疑問ができた。
直接聞く場合は赤ちゃんにとってのCを確かめることができるけどビデオでは確
めることができないという話と聞いて納得した。赤ちゃんに限らず、私たちが5
0年代年齢でも言語を学ぶ際はその国に行く必要はないとわかっているの
と同じような理由なのかもしれないと考えた。いつもABCが大事だね!

「ゆる言語学ラジオ」では、赤ちゃんが言語を学ぶことの困難をあげていて、その最初が「コミュニケーションだと気づけるか」という課題でした。面白い観点でしたね。赤ちゃんについての謎は多いです!

赤ちゃんの言語習得で可動域を広げる行為は、試行錯誤を通じ、
理解や能力を深める事の重要性を示している。赤ちゃんは間違えを
恐ろしく、命を失うから、正しい事の範囲を少しづつ広げていく事
自然に成長している。この事から、人間が学ぶ時、最初から完璧を目指す
のは良くない。小工を試して修正する過程に価値があると考えた。Good!

謎は多いのですが、それでも科学のABCを使って言語を使えるようになり、体
を動かせるようになるのは間違いありません。だから私たちは生まれながらに、
そのようなことができるわけで、自分たちが「生まれながらの科学者である」こ
とに誇りを自信を持ってほしいです!

ビデオでは言語能力(聞き分けの能力)が高まらなかったことは、いつ
かの示唆を与えてくれますね。

- ・ 科学のABCを実行していることを支持するといえます。
- ・ 赤ちゃんが自然と実行していることを示しています。
- ・ 赤ちゃんが言語を獲得するために、私たちは赤ちゃんに積極的に関
わるべきであることを示しています。
- ・ 私たちも語学を学ぶときに科学のABCを使うべきだと思います。

正直赤ちゃんの方が優れていると感いられるけれど、私たちが大人は、今でも生きて
知識を使うという戦略だと思う。
意識的にABCを!

大人ならでは戦略としては、科学のABCを意識すること、当たり前のこと
のりも重要な課題に焦点を当てること、検討する必要がある仮説を選び
出してから検証すること、といったことが考えられますね!